



・ ・ ・ 大野中地区 ・ ・ ・

大野中地区は、駅周辺に商業地域が形成されている一方で、かながわ美林50選にも選ばれている「木もれびの森」等もあり、みどり豊かな地区でもあります。また、毎年9月には、「相模原よさこい RANBU!」が開催され、市内外から多くの踊り手が参加し、リズムカルな音楽と華麗な踊りに7万を越す市民が酔いしれます。

大野中地区優秀賞



【撮影者】諏訪 一紀さん

【タイトル】光のシンフォニー

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】「木もれびの森」に差し込む朝の光はまさに「光のシンフォニー」・・・。森は差し込む光と共に、新しい一日の始まりを詠っているかのように輝いていた。

審査員寸評

木もれびの森の朝、立ち込める霧に朝日が差し込み、オレンジの光が生まれました。木立ちのシルエットも画面を引き締めています。カメラの露出も上手にコントロールされていて、技量が伺えます。

【撮影者】境 みのるさん

【タイトル】こもれびの森

【撮影場所】大野台

【コメント】撮影時期：2015年5月3日

かながわの美林50選に選ばれている「木もれびの森」は心休まる散策場所。五月の爽やかな朝の光です。



第4回「南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】坂上 和正さん

【タイトル】若葉の森

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】私の大好きな「木もれびの森」の春。薄緑色に萌える嫩葉の樹々の下で村の小娘達みたいに咲くムラサキハナナ。もともとは外来種とのことですが、いつの間にか「木もれびの森」にもすっかり馴染んで森の一時を楽しませてくれています。樹の下に寝転がって薄紫色の小さな花達の間から若葉の森を見上げると、春の嬉遊曲が聴えてくるような気がします。

【撮影者】諏訪 一紀さん

【タイトル】眠りの時

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】開花の役目を終えた紫陽花は、来春を夢見ながら静かな眠りの時を迎えたのです。



【撮影者】吉富 明德さん

【タイトル】古淵の一大イベント「相模原よさこいRANBU!」競演

【撮影場所】古淵駅前通り周辺

【コメント】撮影時期：2014.9.14

大勢の観客で埋め尽くされた沿道、ステージでは各チームの踊りの競演が展開された古淵の一大イベント「相模原よさこいRANBU!」。ダイナミックで躍動感あふれる迫力ある踊り、その中に修練の結晶、調和のとれた集合美が決まった瞬間。

【撮影者】長谷川 重男さん

【タイトル】輝く木漏れ日の森

【撮影場所】大野台（木もれびの森）

【コメント】撮影時期：平成27年5月2日

撮影した理由、作品への思い：昔はこの林の



第4回「南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】内田 章さん

【タイトル】喜び

【撮影場所】大野台木もれびの森

【コメント】撮影時期：2014.4.9

何気なく散歩していた場所で、染井吉野は散っていましたが、枝垂れはまだでした、喜びをこめて撮影いたしました。



【撮影者】

【タイト

【撮影場

【コメン

何気なく

は散って

散った花



第4回「南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表

【撮影者】行田 ゆう子さん

【タイトル】・・・見つけて

【撮影場所】木もれび森

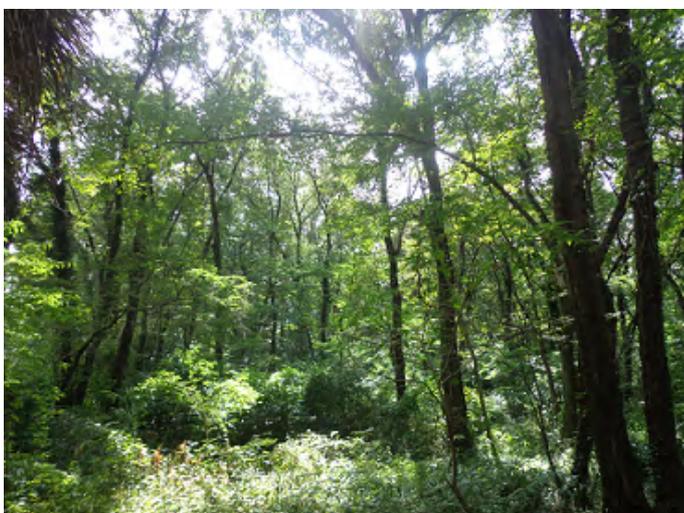
【コメント】撮影時期：2015年9月21日

撮影した理由：心癒される樹々に囲まれて思わず
深呼吸したくなるような森、ずーっと大切にしたい
場所。

作品への思い：何気なく通り過ぎ誰にも気づかれ
ずひっそりと生きてる紫色の花・・・可憐なのに
たくましい。



【撮影者】行田 ゆう子さん
【タイトル】・・・見つけて
【撮影場所】木もれび森
【コメント】撮影時期：2015年9月21日
撮影した理由：心癒される樹々に囲まれて思わず
深呼吸したくなるような森、ずーっと大切にしたい場所。
作品への思い：何気なく通り過ぎ誰にも気づかれずひっそりと生きてる紫色の花・・・可憐なのに
たくましい。



【撮影者】石渡 健太郎さん

【タイトル】こもれびの森

【撮影場所】南区内の木もれびの森

【コメント】夏には、毎年カブトムシをとりに行っている木もれびの森です。朝から昼にかけて、日光が差し込んでいるところがきれいです。



第4回「南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表

【撮影者】石渡 健太郎さん

【タイトル】すすきの中をかけぬける車両

【撮影場所】古淵駅近く

【コメント】ここは、電車が好きなぼくが、小さいころからいっているお気に入りの場所です。すすきの中を横浜線の車両が走っているところです。



【撮影者】小杉 貴美子さん

【タイトル】歴史を感じて

【撮影場所】相模原慰霊塔と参道

【コメント】市内戦没者を弔慰することを目的に設置されている相模原市慰霊塔。314Mの参道が引かれていて、左右は特別緑地保全地区になっている。春は慰霊塔一帯に桜が咲き、夏はお祭りの会場になる。参道両側には地域の方々による四季折々の花が植えられ通る人を楽しませてくれる。秋分の日ここを通ったら彼岸花が咲いていた。今年は、戦後70年という時を迎え、これからも残したい「まちなみ」と思いシャッターを押した。



【撮影者】回胴さん

【タイトル】大沼神社の鳥居と桜

【撮影場所】大沼神社（大野中地区）

【コメント】ふと、通りがかりに見えた大沼神社の鳥居と桜がとても綺麗で撮影しました。多くの人にぜひ知って欲しい南区の桜のスポットとしてご紹介したいと思います。

